

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語表現 I
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	商船学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教員の用意した教材 『英文法基礎10題ドリル』(駿台文庫) 『総合英語One』(アルク)				
担当教員	山村 啓人				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 英検準2級レベルの、基礎的な英文の構造と意味を理解することができる。また、その理解を基盤として英語で基礎的な自己表現をすることができる。 英語らしい発音やイントネーションを意識して英語を発することができる。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
読むこと	英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容を正確に理解することができる。	英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をだいたい理解することができる。	英検準2級レベルの語彙や文構造を用いた英文を聞いたり読んだりして、その内容をほとんど理解することができない。		
話すこと	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように話す(発表・やりとり)ことができる。	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように話す(発表・やりとり)ことができる。	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、あまり話す(発表・やりとり)ことができない。		
書くこと	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、十分に相手に伝わるように書くことができる。	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、だいたい相手に伝わるように書くことができる。	英検準2級レベルの言語材料を用いて、自分の考えや身のまわりのことについて、ほとんど書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
MCCコア科目					
教育方法等					
概要	この授業では、英語の仕組みの基礎を学ぶ。英語の基礎とは、品詞とその働きのことであるといつてよい。単語の意味やフレーズを丸暗記する学習ではなく、辞書を活用して単語の品詞を意識し、単語同士がどのように関わり合っているのか、その「仕組み」を根本的に理解することが目標である。英語を構成するメカニズムを理解しないと、応用がつかず、英文の難易度が上がってくると必ず行き詰まるからである。また、学習の際には当然英語を口に出すことになるが、英語らしい発声と発音ができるよう、音声の仕組みも学び、たくさん練習をする予定である。				
授業の進め方・方法	教員による講義を中心として学生同士の学び合いも多く取り入れる。また授業中は英語も多く使用するので、リスニング力向上にもつながるはずである。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業には必ず英和辞典を持参すること。 私語やスマホに注意し、自立した態度で授業に臨むこと。 評価が50点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものは、その評価を50点とする。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業の概要や目的について理解する 教員の自己紹介、英語を使ったウォームアップ	
		2週	品詞の基礎	英語の品詞について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		3週	品詞とその働き	品詞とその働きについて理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		4週	名詞のまとめ	名詞のまとめについて理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		5週	いろいろな句	いろいろな句について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		6週	いろいろな節	いろいろな節について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		7週	動詞と文型	動詞と文型について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		8週	中間試験	成績評価・確認	
	2ndQ	9週	答案の返却 第1文型(SV)	解答と解説 第1文型(SV)について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		10週	第2文型(SVC)	第2文型(SVC)について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		11週	第3文型(SVO)	第3文型(SVO)について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	
		12週	第4文型(SVOO)	第4文型(SVOO)について理解し、基礎・応用問題を解くことができる	

後期		13週	第5文型（SVOC）	第5文型（SVOC）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		14週	第5文型（SVOC）	第5文型（SVOC）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		15週	期末試験	成績評価・確認
		16週	答案の返却	成績評価・確認
	3rdQ	1週	前置詞句	前置詞句について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		2週	不定詞（名詞的用法）	不定詞（名詞的用法）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		3週	不定詞（形容詞的用法）	不定詞（形容詞的用法）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		4週	不定詞（副詞的用法）	不定詞（副詞的用法）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		5週	不定詞（意味上の主語など）	不定詞（意味上の主語など）について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		6週	動名詞	動名詞について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		7週	分詞の形容詞的用法	分詞の形容詞的用法について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		8週	中間試験	成績評価・確認
	4thQ	9週	答案の返却	解答と解説
		10週	分詞構文①	分詞構文①について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		11週	分詞構文②	分詞構文②について理解し、基礎・応用問題を解くことができる
		12週	これまでの復習や質問	これまでに学習した内容をおさらいし、理解度を確認することができる また苦手な項目について質問したり克服することができる
13週		これまでの復習や質問	これまでに学習した内容をおさらいし、理解度を確認することができる また苦手な項目について質問したり克服することができる	
14週		これまでの復習や質問	これまでに学習した内容をおさらいし、理解度を確認することができる また苦手な項目について質問したり克服することができる	
15週		学年末試験	成績評価・確認	
16週		答案の返却	解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14

				<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p>	3	前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
				<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p>	3	
		英語運用能力の基礎固め		<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
				<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p>	3	

評価割合

	試験	小テスト (語彙、作文他)	提出物	発表	相互評価	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0